

酒田商業高校跡地活用基本構想(概要版) 1/3

1 中心市街地の概要 (酒田市のまちづくりの計画)

(1) 酒田市の中心市街地

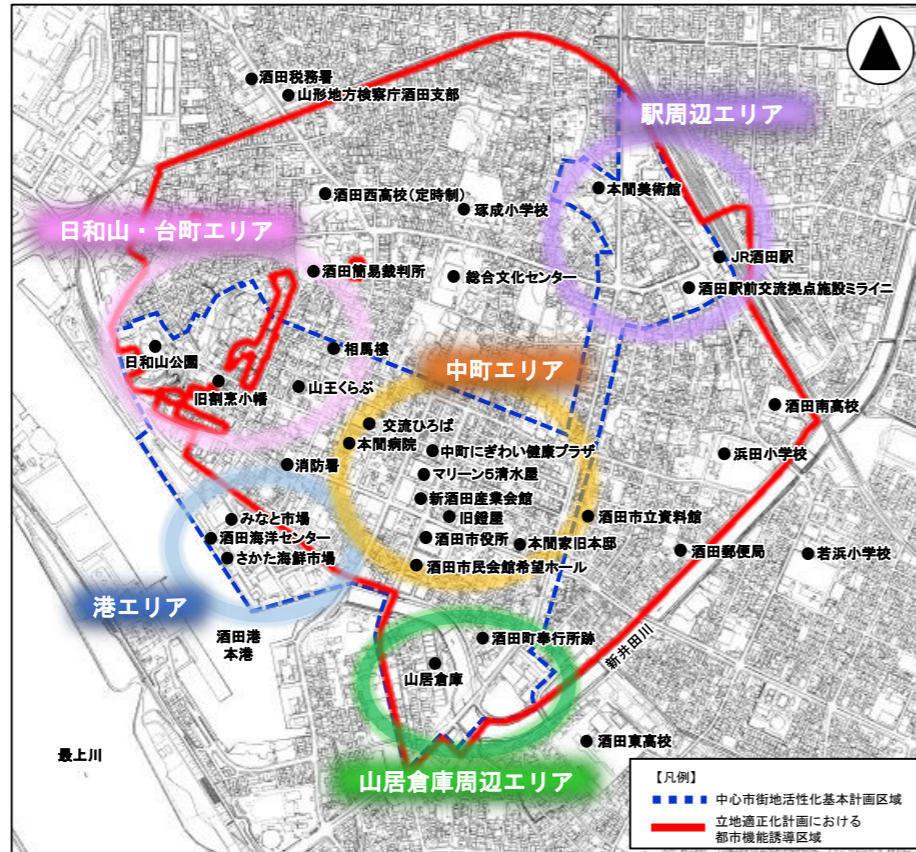
- 本市の中心市街地は、新井田川の河口付近から酒田駅に至る範囲を中心に、明治以降に官公庁街として発展し、現在でも公共施設、事業所、医療・福祉施設、教育施設等の都市機能が集積
- 一方で、高度経済成長期以降の急激な車社会の進展や、市街地の拡大、商業集積の多様化により、中心市街地の空洞化が進行

(2) 中心市街地活性化基本計画

- 平成12年から市独自、平成21年から国認定の中心市街地活性化基本計画を策定し、中町エリア、港エリア、駅周辺エリア、日和山・台町エリア、山居倉庫周辺エリアの5つのエリアを拠点として、各エリア毎の特色を強化し、回遊性を向上させる取組みを実施

(3) 立地適正化計画 (令和元年7月～)

- 中心市街地活性化基本計画は令和3年3月で国認定の計画期間が終了
- 今後は、中心市街地活性化の継続とともに、緩やかに居住及び都市機能の誘導を図り、人口減少が進む中でも活力があり、住みやすい・住み続けられる都市づくりの実現を目指す立地適正化計画を推進



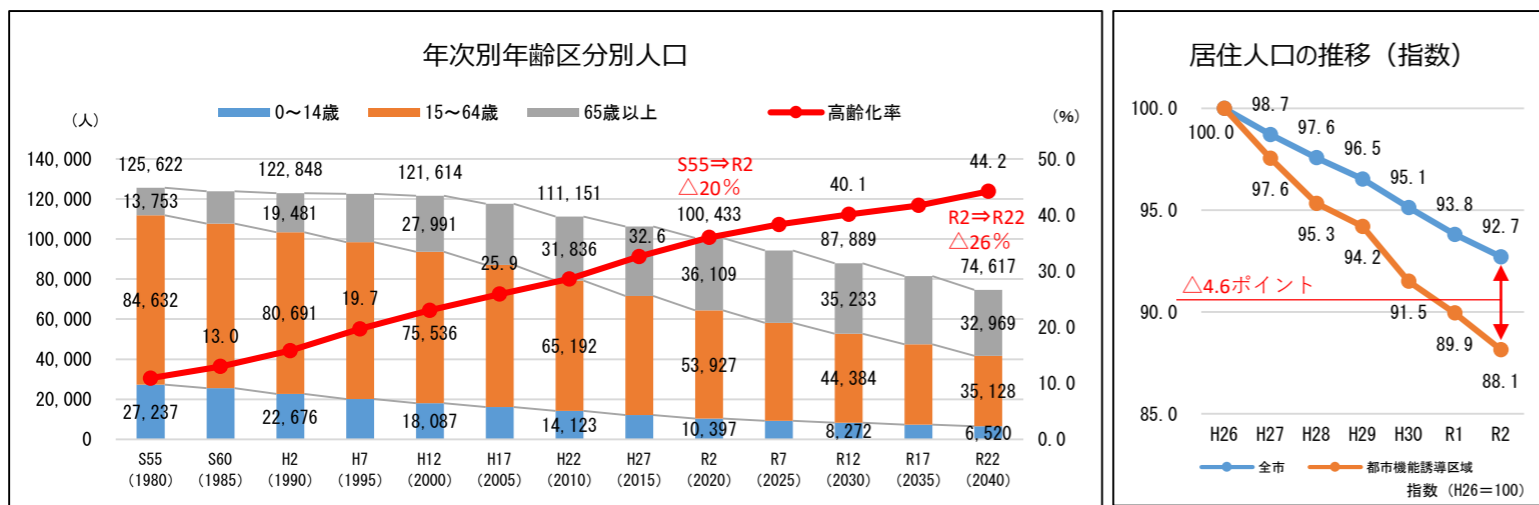
※上位計画、関連計画

- 酒田市総合計画
- 【第二期】酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 酒田市都市計画マスタープラン
- 酒田市景観計画
- 酒田市公共施設適正化実施方針、酒田市公共施設適正化アクションプラン

2 中心市街地の現状

(1) 人口動態

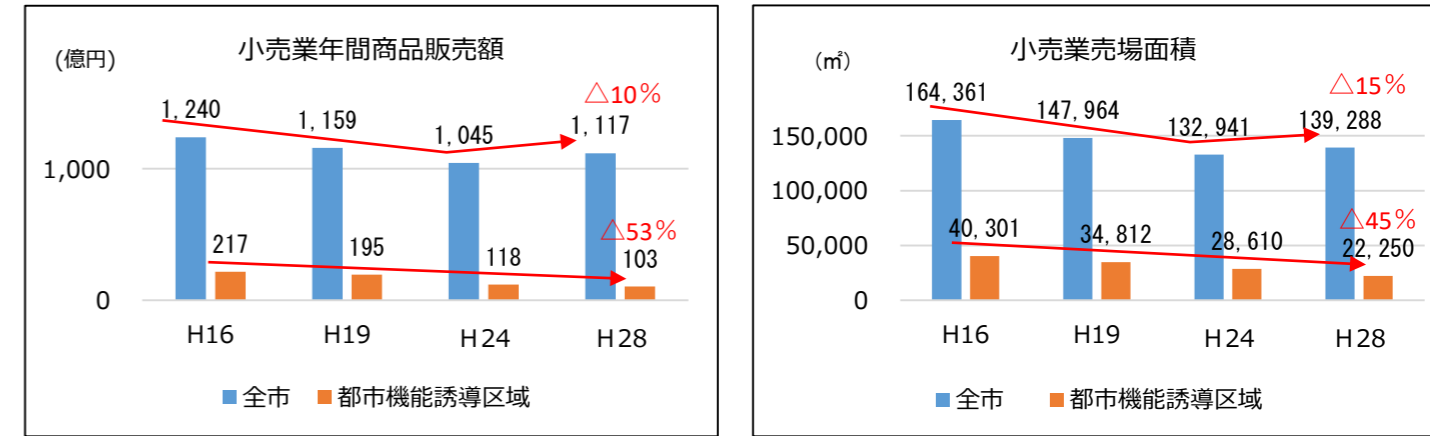
- 人口は減少傾向にありS55⇒R2の40年間で△20%の減少、今後はR2⇒R22の20年間で△26%と推計
- 中心市街地では、居住人口の減少が市全体に比べ進行



資料：国勢調査 (S55~H27)、住民基本台帳 (R2)、社人研推計準拠 (R7~R22)

(2) 商業動態

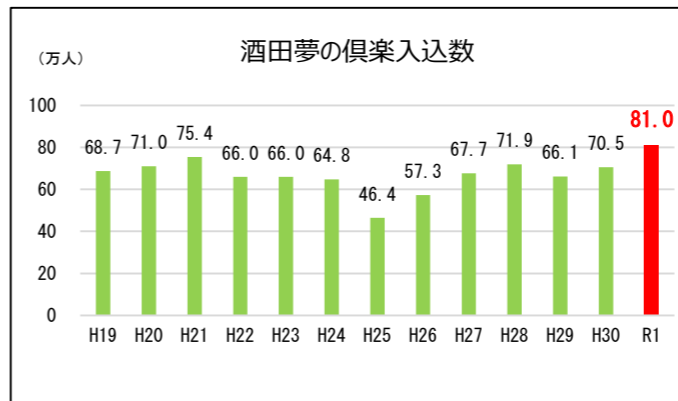
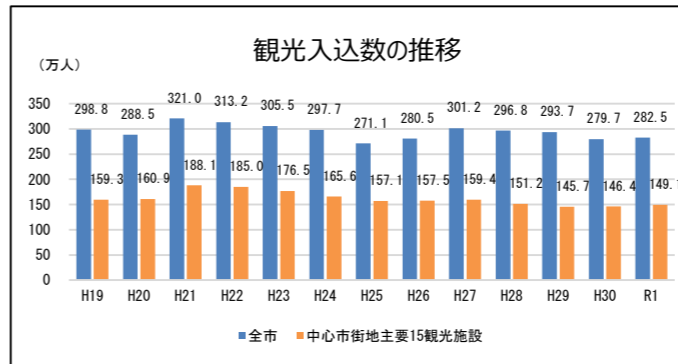
- 小売業の年間商品販売額は、市全体ではH28調査で増加したが、中心市街地は減少幅が拡大 (商品販売額 H16⇒H28で△53%減少、売り場面積 H16⇒H28で△45%の減少)



資料：H16、H19は商業統計調査酒田市報告書、H24、H28は経済センサス活動調査

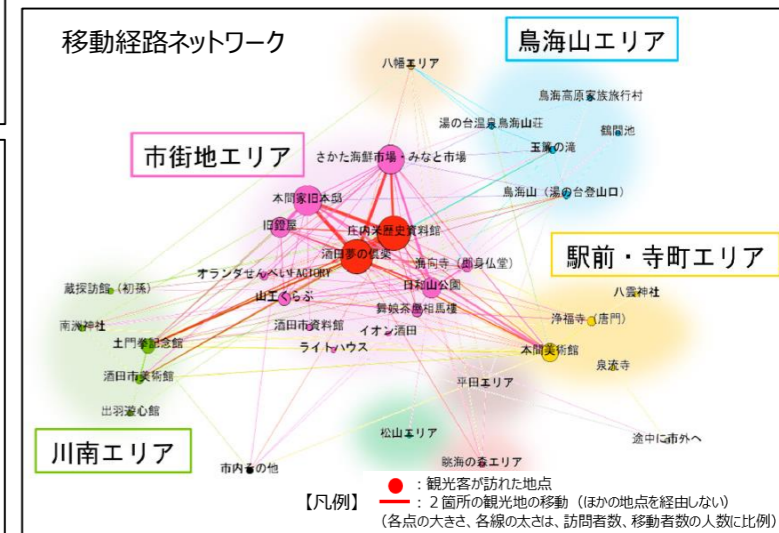
(3) 観光資源及び観光入込数の状況

- 山居倉庫は、中心市街地の観光入込数の半数を占めている本市を代表する観光資源



資料：酒田市交流観光課集計 (年度別) 出典：R1度酒田市観光に関する調査研究 (東北公益文科大学)

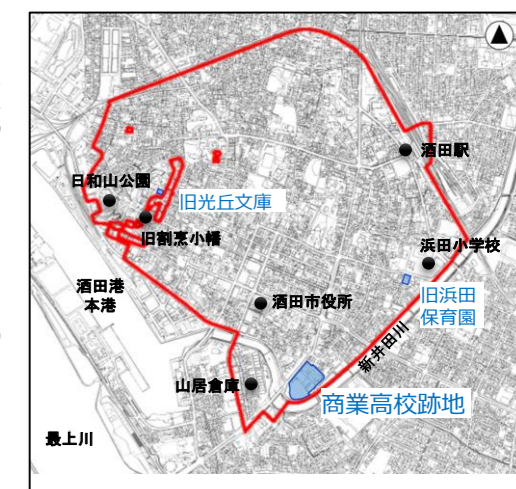
- 令和元年度の観光入込数は、NHK連続テレビ小説「おしん」再放送によるブーム再燃や外国クルーズ船の寄港に伴う海外からの観光客増により80万人を突破
- 本市における旅行者の訪問傾向調査結果からも、山居倉庫への訪問が多く、市内旅行におけるハブ的役割を持っている



(4) 市街地の低未利用地

- 公有財産については酒田市公共施設適正化実施方針に基づき、公共施設の統廃合や新設の抑制、貸付、解体等、施設管理・運営の継続的な見直しにより、公共施設の適正化を図っている。
- 高校統廃合に伴い市が取得した酒田商業高校跡地が、広大な未利用地として存在し、老朽化による危険性だけでなく地域経済の観点からも大きな機会損失につながっている。

- ※酒田市公共施設適正化アクションプランにおける酒田商業高校跡地の位置づけ：「使用していない施設」として積極的に売却・譲渡・貸付・解体等の処分を進める



おうこらいこん
「往古来今」

山居倉庫が中心として紡いできた酒田の歴史を、生活の一部として触れ、感じることができ、未来へつないでいくためのまちづくり。幅広い世代が生涯活躍できるまちの実現を目指し、山居倉庫周辺エリアの価値を高める。

- ・酒田の歴史に関する情報を広く市内外に発信していく拠点としての検討
- ・民間事業のアイデア、活力を生かすことができ、地域経済の振興に資する活用を検討

豊里十里塚線 4車線化 = 交通網強化

山居倉庫の将来像

「観る」だけから、「触れて」・「感じて」もらえる拠点



観光

観光消費を向上するまちづくりを推進する

資金

地域経済で循環するまち

人

住みたい・住み続けたいまち

歴史

これまでの歴史を生かし
これからの歴史となるデザイン

- ・酒田の自然・歴史を生活の一部として感じることができ、中心市街地で暮らす拠点
- ・地域づくりへの参画、史跡・にぎわい拠点への労力の提供、幅広い世代間の交流
- ・参加する暮らしに集うまちを実感できる拠点

消防本署跡地の将来像

新しい暮らし・生涯活躍ができる拠点

- ・庄内空港、幹線道路からの玄関口としての機能を強化する整備
- ・隣接する山居倉庫との連携により、魅力を最大限発揮する機能を整備
- ・民間の活力を最大限発揮できる整備

商業高校跡地の将来像

空港・IC方面からの玄関口機能・にぎわい拠点